

知的障害者の経済的自立を目指す

～アフガニスタン他の行政官ら14名、

1月27日（月） 東京都港区 青山迎賓館へ～

国際協力機構（JICA）では、開発途上国を対象とし、「地域活動としての知的・発達障害者支援」研修を実施しています。今年度は、アジア・南米等12か国から14名の行政官・NGO職員等がこの研修に参加しており、1月27日（月）には株式会社テイクアンドギヴ・ニーズを訪問します。

開発途上国では、障害者への理解が十分ではないことがあり、中でも、知的・発達障害者への公的支援はゆき届きにくい状況にあります。研修員は、日本の研修での講義や視察を通して、日本における知的・発達障害者支援の状況や特徴を理解し、知的・発達障害者が非障害者と等しく人権を有し、適切な支援を受けることにより、社会参加が可能であることを学びます。そして、日本での研修につき訪れる予定のカンボジアでの研修では、自国のリソースを活用した、知的・発達障害者を支える活動計画を完成させます。

今回訪問する株式会社テイクアンドギヴ・ニーズは、2007年より国内ハウスウェディング事業において障害者の雇用を開始し、2019年12月現在、28名の障害者が働いています。業務では、障害者と非障害者がチームを組み、本人（障害当事者）、家族、支援機関、会社が日常的に情報共有を図り、本人の職業自立を目指しています。

今回の視察では、知的障害の障害特性をいかした就労現場を訪問し、知的障害者の就労支援のあり方について学びます。この機会に、ぜひ取材をご検討ください。

日時		訪問先	内容
1月27日（月）	10:00 - 12:00	テイクアンドギヴ・ニーズ （青山迎賓館）	事業概要説明（コンセプト、障害者雇用の取り組み他）、清掃業務視察、質疑応答他

【研修概要】

研修名：JICA 課題別研修「地域活動としての知的・発達障害者支援」

研修期間：2020年1月15日（水）から2020年2月22日（土）（日本）

2020年2月22日（土）から2020年2月29日（土）（カンボジア）

研修委託先機関：公益社団法人 日本発達障害連盟（JLDD）

参加国：アフガニスタン、アルゼンチン、コロンビア、モルディブ、モザンビーク、ネパール、ナイジェリア、パプアニューギニア、セルビア、ウズベキスタン、モンゴル、スリランカ（12か国、14名）

【問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構（JICA）東京センター 人間開発・計画調整課 菅野 直美、川津 詩乃

TEL 03-3485-7661 e-mail: Kanno.Naomi@jica.go.jp, Kawazu.Shino.3@jica.go.jp

※予定が変更になる場合もございます。取材をご検討の際には、事前に上記連絡先までご一報いただければ幸いです。